令和7年度

消防本部の方針書

部　名	消防本部
部長名	高田　俊之

1. 部の使命（ありたい姿）

災害からいのちと暮らしを守り、安心できるまちづくりを進めます

担当政策	政策3：豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
担当施策	3－3：災害に強いまちづくりの推進

2. 部の抱える課題（現状）

・人材育成の推進
・消防施設整備の推進と消防体制の強化
・消防団との連携強化
・火災予防対策の推進

3. 今年度の『スローガン』

誇りと責任を持ち、市民に寄り添う消防

4. 今年度の方針

・災害現場の最前線で市民の信頼と期待に応える人材の育成
・時代に即した消防体制の強化と災害に強いまちづくり
・出火防止や被害の軽減に繋がる火災予防対策の推進

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	災害現場の最前線で市民の信頼と期待に応える人材の育成
	取組内容	1、服務規律を遵守し高い使命感を持つ職員の育成と人材確保の推進 2、専門的な研修や資格取得による能力向上の推進 3、安全的確な活動要領、時代に即した教育訓練の推進 4、心身とも健康で士気の高い職場環境の推進
(2)	実現したい成果	時代に即した消防体制の強化と災害に強いまちづくり
	取組内容	1、消防車両、消防水利など消防施設の整備、維持管理の推進 2、消防救急体制の充実強化の推進 3、消防指令体制の充実強化の推進 4、消防団との一体的な活動に向けた連携強化と消防訓練大会の検討
(3)	実現したい成果	出火防止や被害の軽減に繋がる火災予防対策の推進
	取組内容	1、事業所の適切な消防用設備等の設置、防火管理体制の推進 2、一般住宅の住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 3、出火防止対策など予防広報の推進 4、火災原因調査、査察能力の向上

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

（1）災害現場の最前線で市民の信頼と期待に応える人材の育成
・服務規律を遵守し使命感をもって職務にあたる組織づくりのため、各所属長との意見交換やコンプライアンス活動に継続して取り組んでいる。また、将来の人材確保に向け、消防業務の魅力発信に取り組んでいる。
・職員の研修、資格取得では、救急救命士養成研修1名、惨事ストレス研修1名、消防学校初任教育7名など上期研修がすべて修了したほか、化学車などの特殊消防車両の機関員資格を17名、移動式小型クレーン資格を3名、玉掛け資格を3名が取得した。
・安全な消防活動に向け、所管課からの通知や各種ミーティングに加え、新たな訓練要領を作成するなど、安全対策を推進している。あわせて、先進的な知見や技術を取り入れた火災戦術講習や火災現場における危険回避行動（ファイヤーファイターサバイバル）訓練を実施している。
・健康対策として、現場活動後に行う予防的なストレスケアを継続し心身の健康維持に努めるとともに、酷暑期の消防活動における熱中症対策を強化した。
（2）時代に即した消防体制の強化と災害に強いまちづくり
・消防車両の更新、耐震性貯水槽の建設など今年度予定している施設整備事業は順調に進んでいる。
・救急救命体制の充実強化のため、救急隊員の教育訓練や救急業務における事故防止対策を推進するとともに、今年度更新となる救急車2台の運用とマイナンバーカードを活用した救急活動実証事業の10月開始に向け、準備を進めた。また、救急現場における早期薬剤投与を推進し、救命率向上にも取り組んでいる。
・消防指令体制の充実強化のため、高機能消防指令センター更新事業を着実に進めるとともに、通信指令員の教育訓練や市民に対するわかりやすい119番通報の啓発を推進している。また、新たに映像通報システムを導入し、119番通報受理時の応急手当指導や出動隊との映像情報共有に活用することで、初動活動の充実につなげている。
・消防操法訓練、水防演習、救命ボート操船訓練など各種訓練を通じて消防団との連携を推進したほか、消防団協力事業所については、新たに1事業所が認定となり計63事業所となった。また、消防訓練大会における新種目の実施に向け、プロジェクトチームを設置し、実施要領等の具体的な検討を進めている。
（3）出火防止や被害の軽減に繋がる火災予防対策の推進
・立入検査等を通じ、各事業所における適切な防火管理体制の確立に向けた指導を推進するとともに、年度当初に確認されていた消防用設備の重大違反3件をすべて是正した。
・各所属において、住宅用火災警報器の設置、維持に係る住宅調査を継続している。
・空気の乾燥に伴い火災が多発する春季の警戒巡回及び予防広報を強化した。
・火災原因損害調査などの現場において、指導的立場の職員が若手職員へのOJT教育を推進している。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

（1）災害現場の最前線で市民の信頼と期待に応える人材の育成
・各所属長との意見交換を重ね、服務規律の遵守や事務ミス根絶のための取組みを徹底し、職員一人ひとりの自覚を深めながら使命感をもって職務にあたる組織づくりを継続する。
・県消防学校の教育研修など下期研修を完全実施するとともに、大型自動車免許取得者に対する助成など資格取得を推進する。
・上期に実施した火災戦術講習や火災現場における危険回避行動（ファイヤーファイターサバイバル）訓練を継続し先進技術の定着を図り、次年度実施予定の実戦的な屋内進入訓練につなげる。
・現場活動後の予防的なストレスケアを継続するほか、健康診断及び二次検診の受診を奨励し、職員の健康増進を支援する。
（2）時代に即した消防体制の強化と災害に強いまちづくり
・消防車両の更新、耐震性貯水槽の建設など今年度の施設整備事業を着実に実施する。
・救急隊員教育計画を完全実施するほか、マイナンバーカードを活用した救急活動実証事業では、効果を検証しながら有効に活用し、救急活動の円滑化、迅速化につなげる。
・高機能消防指令センター更新事業を着実に進めるとともに、新システム移行に向けた指令員の操作研修を実施し運用開始につなげる。また、県主催の通信指令員研修や外国人対応訓練などを通じて指令員のレベルアップを図るほか、多様な119番通報対応に向けて、映像通報システムやNET119緊急通報システムの利用促進を図る。
・消防団と合同で災害現場指揮訓練を実施し連携を深めるほか、消防訓練大会の新たな実施要領について、年度内の実施計画策定を目指す。
（3）出火防止や被害の軽減に繋がる火災予防対策の推進
・各事業所の適切な防火管理体制の確立に向けた指導を継続するとともに、新たに確認された重大違反1件を早期に是正する。
・住宅用火災警報器の設置、維持に係る座談会など市民広報を推進する。
・火気の取扱いが増える冬季や雪解け後の乾燥期を見据え警戒巡回を強化する。
・指導的立場の職員による若手職員へのOJT教育を継続するとともに、消防大学校等で専門的知識を習得した職員を講師とした研修会を実施し、技能向上を図る。

8. 総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）